

▼エルレフィオ皮下注 [注]

【重要度】	【一般製剤名】エルラナタマブ（遺伝子組換え）	Elranatamab（Genetical Recombination）	【分類】抗悪性腫瘍剤 [抗 BCMA/CD3 二重特異性抗体]
【単位】	▼44mg/V（1.1mL）・▼76mg/V（1.9mL）		
【常用量】	1 日目に 12mg，4 日目に 32mg を 1 回皮下投与。8 日目以降は 1 回 76mg を 1 週間間隔で皮下投与 24 週間以上投与し，奏効が認められている場合は投与間隔を 2 週間間隔とする		
※サイトカイン放出症候群（CRS）軽減のため，premedication 実施指示あり			
【用法】	皮下注 [主に腹部]		
※調製後の保管期限は 2～30℃，4 時間以内			
【透析患者への投与方法】	常用量（1）		
【保存期 CKD 患者への投与方法】	常用量（1）		
【特徴】	B 細胞成熟抗原（BCMA：形質細胞の悪性化により発現が亢進）及び CD3 に対するヒト化 IgG2 二重特異性モノクローナル抗体。T 細胞の細胞膜上に発現する CD3 と骨髄腫細胞の細胞膜上に発現する BCMA の両者に結合・架橋することにより T 細胞受容体との相互作用を必要とせずに T 細胞を活性化し，BCMA 陽性の腫瘍細胞を傷害する。		
【主な副作用・毒性】	サイトカイン放出症候群，神経学的事象，感染症，血球減少，間質性肺疾患，低γグロブリン血症，皮膚症状，消化器症状，肝機能障害，発熱，不眠など多数		
【安全性に関する情報】			
【F】	56.2% [sc]（1）		
【tmax】	7hr（1）		
【代謝】	異化される（1）		
【排泄】			
【t1/2】			
【蛋白結合率】			
【Vd】			
【MW】			
【透析性】			
【O/W 係数】			
【肝障害患者への投与方法】			
【小児 CKD 患者における報告】			
【妊婦・授乳婦への投薬】			
【主な臨床報告】			
【備考】	光を避けて保管		
【更新日】	20240822		

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。